周智病院内科における疾病の生態

鈴木 茂*・大山 泰*

私どもは、農村を背景とする小病院における内科的疾患の実態がいかなるものであるかを知らんがために、昭和27, 28両年度に診療した当院内科の外来および入院患者につき調査したところいささか知見を得たので報告する。調査成績を述べる前に、これと密接な関連があると思われる当院の地理的環境およびその内容を簡単に紹介する。当院は静岡県の西部、周智郡の南部、“森の石松”で有名な森町にあり、周辺に農山村を控えた郡下唯一の公立病院で、病床数は28、内科と外科だけで、医師4名、薬剤師1名、レ線技師1名、看護婦9名その他事務関係という陳客である。

周智郡11ヶ町村で人口約5万、国保直診および

表1 疾患群大別表

表2 疾患細別表 (総患者に対する%)

*静岡県 周智病院内科 Statistical Observations on Diseases, by the Department of Internal Medicine, Shūchi, Hospital, Shizuoka Pref. S. Suzuki & Y. Oyama

開業の診療所は24で、森町は人口約1万、開業は7ヶ所という状況である。

さて本題に入る。表1は、昭和27、28両年度に当院において診療した全患者の70～80種の疾患を、一般の内科学成書にしたがい大別分類し、その百分率を求めたものである。白いヒストグラムは昭和27年度、黒は28年度で呼吸器疾患は全体の約半数48.4～48.0%を示して最も多く、消化器疾患がその約半数で23.2～25%、寄生虫疾患は8.5～6.0%で第3位、神経系疾患は6.3～5.8%で第4位、次いで循環器疾患、栄養代謝アレルギー疾患、泌尿器疾患等々で、昭和27、28両年度とも、疾患群の順位は全く同じであった。次に男女別では、男が64.0～63.0%で6割以上を示している。

表2に示したのは、個々の疾患の百分率で、第1位から第5位までは、それぞれ肺結核、気管支炎、胃炎、腸炎、蛔虫症が占め、昭和27、28両年度ともに同順位である。この表により、表1における呼吸器疾患は、主として肺結核、気管支炎、扁桃炎、感冒等が多く、消化器疾患では、胃炎、腸炎、胃および十二指腸潰瘍等が多く、寄生虫疾患では殆んどが蛔虫症で神経系疾患では神経痛が主で、循環器疾患では、高血圧心臓弁膜症等が多いことがわかる。

表3においては、最も頻度の高い肺結核につい

て昭和28年度の314例を病型別、罹患側別、年令別等に分類したが、病型別では増殖型(32.8%)、滲出性(22.9%)、肺門性(19.7%)、空洞性(10.8%)、硬化性(9.8%)、混合型(3.5%)、結核腫(0.3%)の順位で罹患側別では、両側性(43.9%)、右側(37.5%)、左側(18.4%)、の順位であった。男女別では、男187例で59%、女127例で41%であった。年令別では20代が最も多く104例(33%)で、次に30代が72例(23%)で、20乃至30代の肺結核が半数以上を示している。また既往症も訴えず、無自覚性でしかも早急な加療を要すると思われる肺結核患者は全例中27例(8%)におよんだ。

以上結論として私どものごとき環境の小病院において診療する疾患は、肺結核、気管支炎、感冒等の呼吸器疾患、およびこれに次いで胃炎、腸炎等の消化器疾患、さらに蛔虫、十二指腸虫症等の寄生虫疾患が大多数であることがわかり、また男の受診率が高いことは農村婦人の封建的立場を推定せしめるものと思われる。肺結核については、20～30代の青年層が約半数以上あり、病型としては増殖性病変が多く、罹患側は両側性が多いということから一般に肺結核に対する早期の加療が非常に遅れていることを推測せしめ、現在でも農山村における肺結核に対する啓蒙が非常に不充分であることを痛感させられる。

表3、肺結核分類表 (病型、罹患側、男女別)

病 型	増 殖 性	滲 出 性	肺 門 性	空 洞 性	硬 化 性	混 合 性	結 核 腫	総 計
罹 患 側								
両 側	40	20	43	15	14	6	0	138 (43.9%)
右	46	29	14	14	11	3	1	118 (37.5)
左	17	23	5	5	6	2	0	58 (18.4)
総 計	103 (32.8%)	56 (22.9%)	43 (19.7%)	29 (10.8%)	24 (9.8%)	11 (3.5%)	8 (0.3%)	187 (59.4%)
年 令 別								
0～9才	0	3	20	0	0	0	0	23
10～19	13	10	28	2	2	0	0	55
20～29	38	30	11	9	10	5	1	104
30～39	30	14	3	11	11	3	0	72
40～49	14	6	0	6	6	2	0	34
50～59	5	6	0	3	2	1	0	17
60～69	2	1	0	3	0	0	0	6
70～	1	2	0	0	0	0	0	3